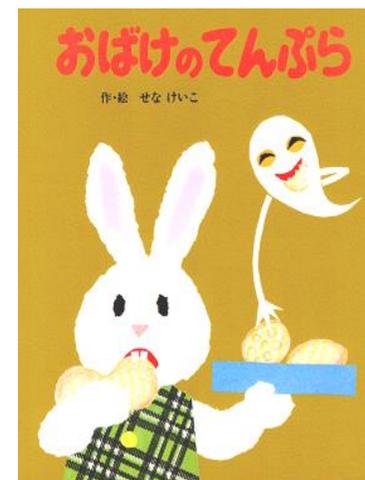
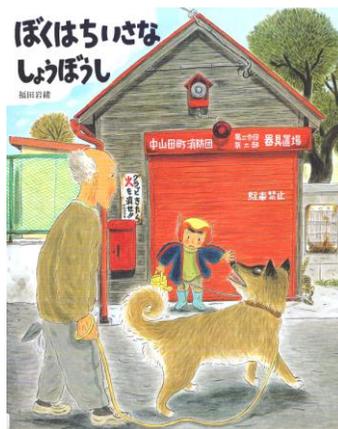


<幼児向き>

やさいのおなか	きうち かつ／さく・え 福音館書店刊	これなあに？やさいをきってみてごらん。やさいのおなかだよ。
もりのなか	マリー・ホール・エッツ／ぶん・え 福音館書店刊	ぼくは、かみのぼうしをかぶり、あたらしいらっぱをもって、もりへ、さんぽにでかけました。すると、いろいろなどうぶつたちがついてきて……。
どうぞのいす	香山 美子／作 柿本 幸造／絵 ひさかたチャイルド刊	うさぎさんがつくった「どうぞのいす」。はじめにやってきたろばさんはどうぞのいすをみると、すわるかわりにどんぐりのはいったかごをおいて、おひるね。そこへつぎつぎとやってくるどうぶつたち。ようやくめをさましたろばさんがかごをのぞくと？！
よくばりぎつねのじろろっぷ	おの りえん／さく たるいし まこ／え 福音館書店刊	ぎつねのじろろっぷは、とてもよくばりなせいかくです。あるひ、ぬまひきがえるがはいているまほうのくつがほしくなったじろろっぷは、くつをうばってはしりだします。
ぼくはちいさなしょうぼうし	福田 岩緒／作 文研出版刊	ちびっこしょうぼうしのてっちゃんは、きょうも まちをみまわります。どんなちいさなけむりも みのがしません。いっしょに まちへでかけたくなりますよ。
びっくりまつぼっくり	多田 多恵子／ぶん 堀川 理万子／え 福音館書店刊	まつぼっくりをひろってみよう。おもしろいかたちをしているよ。でも、いちばんおもしろいのは、まつぼっくりてじな。やってみて！
おばけのてんぷら	せな けいこ／作・絵 ポプラ社刊	たべることがだいすきなうさこがてんぷらをつくっています。あげたてをばくばく、うん、おいしい！そこに、おいしそうなおいにさそわれたおばけがやってきて……。
ほね、ほね、きょうりゅうのほね	バイロン・バートン／さく ポプラ社刊	「ほねはないか、ほねはないか」きょうりゅうのほねをさがしにでかけよう。つちをほって、ほねをみつけたら、トラックにつんで……。

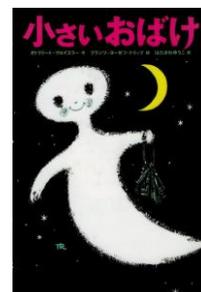


<低学年向き>



<p>ぼくはめいたんてい きえた犬のえ</p>	<p>マージョリー・W・シャーマット／ぶん マーク・シマント／え 大日本図書刊</p>	<p>なかよしの女の子アニーがかいた犬のえがなくなった。めいたんていの「ぼく」は、かんけいしゃたちにききこみにいくが……。9さいのめいたんていがかつやくする『ぼくはめいたんてい』シリーズ1さくめ。</p>
<p>あおい目のこねこ</p>	<p>エゴン・マチーセン／さく・え 福音館書店刊</p>	<p>青い目のげんきなこねこが ねずみのくにをみつけにでかけました。どんだんどんあるいていって、こねこは いろいろなものに であいます。</p>
<p>ふくろうくん</p>	<p>アーノルド・ローベル／作 文化出版局刊</p>	<p>心やさしいふくろうくん。1人でくらしているけれど、いろいろなことをかんがえるあまり、なんだかとてもいそがしそう……！</p>
<p>りすのスージー</p>	<p>ミリアム・ヤング／ぶん アーノルド・ロベル／え 大日本図書刊</p>	<p>ある日、あばれんぼうのあかりすのーだんがやってきて、いえからおいだされてしまったりすのスージー。こまったスージーはようやく見つけたにぎょうのいえで、おもちゃのへいたいたちとくらしはじめますが……。</p>
<p>じめんのうえとじめんのした</p>	<p>アーマ E. ウェバー／ぶん・え 福音館書店刊</p>	<p>しょくぶつには、じめんのうえにでているところと、じめんのしたにもぐっているところがあります。わたしたちがめにするのができないじめんのしたで、しょくぶつはどのようなすがたをしているのでしょうか。</p>
<p>きのこの絵本</p>	<p>小林 路子／文と絵 ハッピーオウル社刊</p>	<p>秋はきのこのきせつです。きのこがなぜきのことよばれているか知っていますか？よめばあなたもきのこマスターになれるかも？！</p>
<p>ピロードのうさぎ</p>	<p>マージェリィ・W. ピアンコ／原作 酒井 駒子／絵・抄訳 フロンズ新社刊</p>	<p>きれいでできているピロードのうさぎ。ほうやといつもいっしょにすごして、ポロポロになったけれど、こどもべやのようせいがあらわれて ほんとうのうさぎになりました。</p>
<p>ねこのくにのおきゃくさま</p>	<p>シビル・ウェットシンハ／さく 福音館書店刊</p>	<p>うみをこえたはるかかなたに、ねこのくにがありました。ねこのくにのひとたちは、みなはたらきもので、たのしむことをしりませんでした。ところが、あるひ、うみのむこうから、みたこともないふねがーそうあらわれて……。</p>

< 中学年向き >



ぼくは王さま	寺村 輝夫／作 理論社刊	「ぞうのたまご」をとってこい。たまごやきがだいすきな王さまがだしためいれいに大臣たちはおおあわて。「ぞうのたまご」をもとめて、森へ進みますが……。わがままだけど、にくめない王さまがとうじょうする4つのおはなし。
モグラ原っぱのなかまたち	古田 足日／作 あかね書房刊	あきらとなおゆき、かすおとひろ子の4人はいつもモグラ原っぱであそんでいます。そこにときどき洋子先生。今日は何してあそんでいるかな。
ふしぎな木の実はの料理法	岡田 淳／作 理論社刊	「こそあどの森」に住んでいるはずかしがり屋の少年スキッパーの元 ^{とど} に届いた”ポアポア”の実は、料理法は〇〇さんにたずねるとわかるでしょうという手紙。しかしだいじな名前がぬれていて分かりません。いったいだれがおしえてくれるかな？
きまぐれロボット	星 新一／作 理論社等刊	かしこいロボットをつれて別荘 ^{べっそう} へ出かけたエヌ氏。ところが、ロボットが動かなくなってしまう……。意外な結末にアッとおどろく31のものがたり。
小さいおばけ	オトフリート・プロイスラー／作 フランツ・ヨーゼフ・トリップ／絵 徳間書店刊	フクロウ城というお城に、ひとりの小さいおばけがすんでいました。おばけは昼の世界をひとめ見たくてたまらなくなりました。そんなある日、願いがかなって昼間に目をさましたおばけは？
ことばあそびうた	谷川 俊太郎／詩 瀬川 康男／絵 福音館書店刊	楽しくて面白いうたが15こ入った絵本です。お気に入りのうたをみつけてね。
アラスカたんけん記	星野 道夫／文・写真 福音館書店刊	北の国アラスカでカヤックをこいで1か月も人に合わずに氷河 ^{ひょうが} のたんけん ^{たんけん} にでかけた記録です。たくさんの野生のいきもの ^{いきもの} にであい、気の遠くなるような自然の中で過ごします。みなさんもオーロラの美しさにおどろくことでしょ。う。
どんぐりノート	いわさ ゆうこ／作 大滝 玲子／作 文化出版局刊	この本はまるごと“どんぐり”の本。色んなしゅるいのどんぐりや、どんぐりの遊び方から食べ方までしょうかいしています。さあ、どんぐりさがしにでかけよう！

<高学年向き>



視覚ミステリーえほん	ウォルター・ウィック／作 あすなろ書房刊	さっ覚の世界へようこそ。ページをめくる度にあなたは自分の目にだまされる。読んだ後、ものの見方が変わるかもしれません。
ノースウッズの森で	大竹 英洋／文・写真 福音館書店刊	北アメリカ大陸の「ノースウッズ」と呼ばれる森と湖の地域。森の中で自然をよく知るコツは「じっとしていること」です。それでも野生の生きものたちの方が人間に気づいて、すがたを消してしまうのです。
わが道は白衣とともに	森下 研／作 PHP研究所刊	150年前の明治時代、今のあきる野市五日市に生まれた萩原タケは、 ^{はぎわら} 看護婦の草分けと ^{かんごふ} して活躍しました。
銀河鉄道の夜	宮沢 賢治／作 岩崎書店等刊	天空を旅する汽車に乗車した少年ジョバンニと友人カムパネルラ。様々な出会いと別れをくりかえしながら、汽車は銀河の彼方へ進んでゆく。
^{ぼうけんしゃ} 冒険者たち	斎藤 惇夫／作 岩波書店刊	ドブネズミのガンバは、台所の床下の貯蔵穴に住んでいます。自分の住みかが気にしているガンバですが、ある日仲間のマンブクに海にいこうとさそわれたことから、イタチと戦う島ネズミを助けることに。
くまのパディントン	マイケル・ボンド／作 福音館書店刊	パディントン駅で、ブラウン夫妻が会ったのは、風変わりなくまの男の子。パディントンと名づけられたくまはブラウン家で暮らし始めるが、次から次へ ^{だいそうどう} と大騒動を巻き起こすのだった。
^{ぼうけん} くらやみ城の冒険	マージェリー・シャープ／作 岩波書店刊	ゆうがな白ねすみミス・ビアンカ、ゆうかんな家ねすみバーナード、ノルウェーの船乗りねすみニルス。3匹は任務をうけて、とらわれの詩人を助けるために、地の果てのくらやみ城へむかう。そこにはおそろしい大ねこがまちうけていた！3匹はどうやって乗りこえる？
^{まじよ} 魔女ジェニファとわたし	E. L. カニグズバーグ／作 岩波書店刊	転校してきたばかりのエリザベスは、ハロウィーンの日少女ジェニファと知り合う。自分は ^{まじよ} 魔女だというジェニファは、エリザベスに ^{まじよ} 魔女になるための課題を ^{あた} 与えるが… …。